

平成26年8月5日発行
発行／宇佐市議会
直通：0978-32-2328
Fax：0978-32-1437

宇佐市議会

東椎屋の滝



滝のイメージとして、夏場の癒し、涼しくて快適でしょうか。

有名な滝として、ナイアガラの滝（アメリカとカナダの国境）、イグアスの滝（アルゼンチン）があります。しかし、滝でも見方によって、激しさ、雄大、偉大、清純、神秘的などのことばがあてはまると思いますが、皆さんはどうでしょうか。

堂々とそびえ立つ風景に魅了する方もおられるでしょうか。いろんな思いを感じながら夏の暑さを乗り切りましょう。

6月定例会

○平成 26 年度一般会計補正予算案を可決

目次	定例会の主な内容・議決結果一覧表……………	P.2～4
	一般質問……………	P.5～10
	市議会よりお知らせ……………	P.11
	市民の声、編集後記……………	P.12

6月定例会

平成26年度一般会計補正予算案(2億6,930万円)を
含む9議案すべてを、可決・承認・同意

平成26年6月定例会が、6月10日から6月27日までの18日間の会期で開催しました。

上程した議案は、追加を含め9件で、9議案すべてを原案のとおり可決・承認・同意しました。

また、今定例会に提出された請願3件のうち、2件を採択、1件を継続審査、3月定例会から継続審査となっていた1件を採択したほか、意

見書案3件を原案のとおり可決しました。

〔本会議第1日〕(6/10)

◆議案の上程及び説明

平成26年度一般会計補正予算(第1号)案のほか、その他議決案、条例案など8件と報告6件を上程し、市長から提案理由の説明がありました。

◆継続審査中の請願の委員長報告

3月議会定例会より継続審査となっていた請願2件に対し、再度継続審査との報告がありました。(うち1件は、6月19日に取り下げを許可しました。)

◆特別委員会の設置、委員の選任

新ごみ処理施設の早期供用開始に向けて、宇佐市におけるごみ処理対策の調査・研究を目的とし、10名の委員で構成する「ごみ処理対策特別委員会」を設置しました。

《ごみ処理対策特別委員会》

委員長	衛藤博幸
副委員長	木下一夫
委員	浜永義機
	相良公治
	加来栄一
	斉藤文博
	佐田則昭
	井本裕明
	辛島光司
	永松 郁

〔本会議第2～4日〕

(6/17～19)

◆一般質問

3日間にわたり、11名の議員が市政一般に対して質問しました。

〔本会議第5日〕(6/20)

◆議案質疑

上程した8議案に対し質疑を行いました。

〔本会議第6日〕(6/27)

◆各常任委員会の審査報告の後、委員長質疑、討論、採決

各常任委員長から議案・請願の審査経過と結果の報告の後、討論、採決を行いました。

議案8件を原案のとおり可決。請願4件のうち3件を採択、1件を継続審査としました。

◆追加議案の上程及び説明

質疑、討論、採決

宇佐市人権擁護委員の人事案件を上程し、質疑、討論、採決を行い、同意しました。

《宇佐市人権擁護委員》

谷井末子氏

(南宇佐)

◆意見書案3件の質疑、討論、採決

文教福祉常任委員会より2件、産業経済常任委員会より1件の意見書案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

常任委員会報告

提出された議案、請願は所管の各常任委員会に付託し、詳細な審査を行います。審査結果は本会議で報告し、それを基に採決を行います。

総務常任委員会（6月23日審査）

件 名		結 果
議第51号	平成26年度宇佐市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
（内 容）	主なものは、「安心・安全確保対策」として、安心院地区防災行政無線の機器を更新する防災行政無線事業で756万円、安心院、院内両支所に除雪機等を配備する除雪機等整備事業で513万4千円などを増額するもの。	
議第53号	宇佐市税特別措置条例の一部改正について	原案可決
議第54号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議第55号	公の施設の区域外設置について	原案可決
議第56号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税条例等の一部改正）	原案承認
議第57号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市都市計画税の一部改正）	原案承認
請願第4号	「かんぼの郷宇佐」の存続を求める請願書	採 択
（内 容）	宇佐市の観光振興拠点としての役割と地元雇用の維持による地域活性化を図るため、「かんぼの郷宇佐」を宇佐市が購入して、これまでどおり存続することを求めるもの	
請願第7号	集団的自衛権行使を容認する閣議決定や立法に反対する意見書の提出を求める請願	継続審査

文教福祉常任委員会（6月24日審査）

件 名		結 果
議第51号	平成26年度宇佐市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
（内 容）	主なものは、「地域人づくり事業」を活用し、障害者相談支援事業所に対して、障がい福祉サービスを受けるために必要な業務を支援する障害者相談支援事業所サポート事業に421万円、保育所整備にかかる補助金の増額を行う保育所緊急整備事業に1,627万円などを増額するもの。	
議第58号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市国民健康保険税条例の一部改正）	原案可決
請願第6号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書採択の請願書	採 択
（内 容）	子どもたちに豊かな教育を保障するため、「義務教育費国庫負担率」の2分の1への復元と、きめ細かな教育を保障するために30人以下学級や少人数教育の推進などについて、国へ意見書の提出を求めるもの。	
意見書案第1号	「少人数学級実現」、「義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充」を求める意見書採択の請願書	委員会発議
意見書案第2号	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	委員会発議

産業経済常任委員会（6月23日審査）

件 名		結 果
議第51号	平成26年度宇佐市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
（内 容）	主なものは、「産業振興対策」として、渡綱興農積善会の事業を引き続き宇佐市が行う渡綱農業振興基金活用事業に1億1,858万7千円、2月の大雪被害の復旧支援を行う農林業施設雪害復旧緊急支援事業に4,340万円、「景気・雇用対策」として、プレミアム商品券の一部を助成するプレミアム商品券支援事業に3,450万円などの増額をするもの。	
議第52号	宇佐市渡綱農業振興基金条例の制定について	原案可決
意見書案第3号	中小企業の事業環境の改善を求める意見書	委員会発議

建設環境常任委員会（6月24日審査）

件 名		結 果
議第51号	平成26年度宇佐市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
（内 容）	主なものは、「環境対策」として、ごみ処理施設建設に伴う周辺地域振興対策事業の財源として広域事務組合が設置する基金に係る負担金2,973万円などの増額をするもの。	
請願第5号	市道中恵良線道路改良工事に関する請願	採 択

○賛否の分かれた議案採決結果

議案番号		後藤竜也	河野睦夫	広崎譲二	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	中島孝行	木下一夫	加来栄一	新開洋一	林 寛	用松律夫	大隈尚人	衛藤正明	宮丸龍美	佐田則昭	笠口 孝	永松 郁	斉藤文博	浜永義機	衛藤博幸	相良公治	久保繁樹	徳田 哲
議第56号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税条例等の一部改正）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
議第58号	専決性分の承認を求めることについて（宇佐市国民健康保険税条例の一部改正）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

賛成＝◎ 反対＝× 退席＝△

市政一般に対する質問

3日間で11名の議員が一般質問を行いました。各議員の一般質問は、紙面の関係上、質問の一部を抜粋して載せています。

用松 律夫……P 5

広崎 譲二……P 6

今石 靖代……P 6

衛藤 義弘……P 7

辛島 光司……P 7

加来 栄一……P 8

河野 睦夫……P 8

後藤 竜也……P 9

斉藤 文博……P 9

大隈 尚人……P 10

河野 康臣……P 10



宇佐市議会議事堂

◆◆お知らせ◆◆

●9月定例会の予定について

- ・開 会 9月 2日 (火) 10:00
- ・一般質問 9月 9日 (火)
- 〃 〃
- 9月12日 (金)
- ・議案質疑 9月12日 (金) 〃
- ・常任委員会
- (文教福祉・建設環境) 9月16日 (月) 10:00~
- (総 務・産業経済) 9月17日 (火) 10:00~
- ・閉 会 9月22日 (月) 〃

※本会議はいつでも傍聴できます。

パナソニックは一部、1年延長も検討

問⑥ パナソニックの存続に向けた更なる働きかけを。

答 部分的だが1年延長も検討

問⑤ 電気、水道工事等も住宅リフォーム助成制度の対象に。

答 有効な手段だが、現在の制度で行く。

問④ 商品券は5千円券や市外向けの券を発行し、買い物客の呼び込みを。

答 提案は商工会に伝える。

問③ 電気、水道工事等も住宅リフォーム助成制度の対象に。

答 有効な手段だが、現在の制度で行く。

問② 公共事業での普通作業員の国の労務単価は、時給1,700円だが守られているか。

答 確認していない。

問① 34施設の指定管理者の最低賃金は守られているか。

答 毎月報告を受け、確認しているが、7月に調査する。

問② 公共事業での普通作業員の国の労務単価は、時給1,700円だが守られているか。

答 確認していない。

問③ 電気、水道工事等も住宅リフォーム助成制度の対象に。

答 有効な手段だが、現在の制度で行く。



用松律夫（日本共産党）

問⑦ 緑の庄の太陽光発電施設で、またパネルが沈下したが、事故等の場合は仲介を。

答 住民との協定書の締結の際、誠意をもって対応する。

問⑧ 市も太陽光発電施設の会社と協定書を結ぶべきでは。

答 市内の40企業と協定書を結んでいるが、今回の太陽光発電施設はその必要性はない。

問⑨ 国の基準通り就学援助の増額を。

答 増額の方で調整している。

問⑩ 百田尚樹氏の「東京裁判は南京大虐殺をごまかすためだ」等の発言は、平和資料館に沿うのか。

答 本人の知見に基づくもの。

問⑪ 平和ミュージアム構想の中で「飛び立つ者もいた」という表記は不正確では。

答 徴兵制など悲惨な歴史があった事実を述べている。

問⑫ 一式陸攻の購入計画は、戦争美化にならないか。

答 詳細は聞いていない。

問⑬ 市道伏田金丸線と、北馬城小の通学路の改修を。

答 年次計画で行う。

問⑭ 市道伏田金丸線と、北馬城小の通学路の改修を。

答 年次計画で行う。

映画公開に向けた対応は



ロケ地マップ

問① 観光PRについて。
(1) 「カラアゲ☆USA」公開に向けた対応は。
答 ロケツーリズム事業に取り組む計画だ。ロケ地マップを作製したほか、テレビの旅番組や雑誌などとタイアップした宣伝活動を開始している。
(2) からあげ協会とセットアップした定食屋等は、考えてない



廣崎 譲二（未来の風）



社会科の教科書

のか。
答 今後、協議していきたい。
問② 教科書選定について。
(1) 教科書採択のプロセスは。
答 県の規則で、宇佐市は豊後高田市と共同採択協議会に指定されている。宇佐高田地区調査研究協議会に調査を依頼し、1つの教科書を選定し、最終的に宇佐市教育委員会が使用教科書を選択している。
(2) 市内の小中学校で現在使用されている社会科（日本史）については、どういう理由で採択されたのか。
答 教科書検定で認定された教科書の中から選んだ。
(3) この教科書の内容は、真実なのか。
答 文部科学省が認めている教科書なので、問題はない。

介護難民増えないか

問① 介護保険制度について。
(1) 要支援1・2のデイサービスと訪問介護が予防給付から外されて、地域支援事業に移行されようとしているが、国に対して反対の意見を上げるべきでは。
答 当面はサービスは変わらないと考えている。受け入れ態勢を整えて移行していく。
(2) 国の特養施設からの追い出しはひどい。年金でも入れる特養の増設こそ目指すべきでは。
答 特養以外での生活が著しく困難な場合は入所を認める。宇佐市は介護施設が多く、施設整備の必要性は、介護予防や認知症対策の取り組み効果等を注視し、判断していきたい。
(3) 介護保険料の引き下げと減免制度の拡充を。
答 低所得者については引き下げの内容がある。基準額は



今石靖代（日本共産党）



認知症予防教室

300円程度の値上げが試算されている。
(4) 旧安心院町に学んだ「認知症予防教室」の取り組みは素晴らしい。職員を増やして全市に広げるべきでは。
答 必要なので検討したい。
問② 母性保護に取り組みながら女性参画の推進を。
答 環境づくりを積極的に推進していく。
問③ コミュニティバスの拡充内容と今後の課題は。デマンドバスなど戸口から戸口までの運行をするバスの検討を。
答 長洲金屋線など3路線を7月から本格運行の予定。今後先進自治体に学びたい。
問④ 猛暑が続く中、子どもたちの安全面からも、小中学校の教室にエアコン設置を急ぐべきでは。
答 扇風機などで対応したい。

医療支援と教育支援



衛藤義弘（公明党）

問① 胃がんはピロリ菌除菌でなくせる。ピロリ菌に感染すると必ず慢性胃炎になる。

答 今年から特定検診で、オプションの検査項目に加え、希望者に対し血液検査により感染の有無を調べ、抗体反応をみている。

問② 学校給食における食物アレルギー対策で、学校生活管理指導表の活用を。

答 十分に活用できてない現状がある。校長会や関係機関に協力を求めていく。

問③ 学校教育について。

答 (1) デジタル化で変わる学校教育として、ICT「情報通信技術」の活用導入は。

多機能型端末と他のICT

機器をつなぎ、わかりやすい授業づくり等の効果的な実践事例を市内各校に広めている。デジタル化・多機能化していく情報化社会に対応できる子供達を育成するには、ICT機器の導入・活用は有効と考えている。

(2) タブレット端末や電子黒板を授業に取り入れることは、今後どう考えているのか。

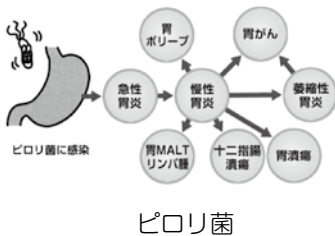
答 モデル校として、タブレットを1学級分、小学校で3校・中学校で2校を指定し、広めている。ICTを使いこなしている先生を有効に活用し、他の先生に普及させ、レベルアップを図り、より有効に子供達の学力向上に向け努力していく。

「他の質問」
AEDの現状と関わり方・消防団の処遇改善と装備の拡充・職員の綱紀粛正・地域包括ケアシステムの構築。

ピロリ菌を除菌し

胃がん予防！

慢性胃炎の除菌治療が保険適用に



“ビシッ”と言います！



辛島光司（照政会）

問① 公益社団法人宇佐市シルバー人材センターについて「自主・自立・協働・共助」を基本理念とし、地域社会において多大な貢献をしていただいている。この度の約300万円の「地域人づくり事業」の中身は。また、今後において更に積極的なシルバー人材センターの支援策や活用策が必要ではないか。

答 労働人口が減少する中、高齢者の社会参加が非常に重要だと認識している。事業については「就業機会の拡大・就業場所の拡大・会員に対しての人材育成」等を通してセンターの体質強化を図る。今後は、市役所全体で積極的に人材センターの活用に取り組んでいく。

問② 東九州自動車道開通後、他市とのスポーツ・文化・市民交流において、各施設の充実が

急がれるが。また、修学旅行の取り込みを狙い、他市との連携を深めるべき。

答 今年度中に「スポーツ施設整備計画」を策定し、来年度以降、着実に実行していく。修学旅行の誘致にも積極的に取り組んでいく。

問③ 「子育て世帯臨時特例給付金」の申請受付が6月より開始されている。申請状況と今後の対象者への周知策は。

答 既に対象世帯から4割以上の申請があり、未申請の方には、電話等により申請を促していく。

問④ 昨年の公職選挙法違反、先般の地方公務員法違反、公務員としての倫理観が失われたところ。これまでもとは違う次元での取り組みが求められるのではないか。

答 市民皆様の信頼を裏切ったと認識している。全体の奉仕者として、公務員の政治的中立性に対する疑念を招くことのないよう、より一層、綱紀粛正を徹底する。



職員の綱紀粛正を求む



加来栄一 (日新会)

問① 消防署の装備計画について。

(1) 各消防団にI-P無線が必要では。

答 総務省九州総合通信局に照会し回答を得た。消防団幹部とも協議し整備計画を策定しているところである。

(2) 防災士の制服を作る計画と増員の予定は。

答 防災士と一目で解る装備が必要と考えている。また、現在151名いるが、1人でも多くの防災士の資格取得をお願いしている。

(3) 有床病院施設や小規模介護施設の防火管理の状況は。

答 有床病院施設が市内に28施設、小規模介護施設が35施設あり、防火管理者の選任や避難訓練などの予防査察で防火管理の重要性を指導周知していく。

問② 宇佐市のめざす教育と教師の資質について。

(1) 全国学力テストの結果公表は前向きに確実にすべき。

答 地域や保護者、学校長の意見を尊重しながら、他市町村と連携し、公表について前向きに議論し決定していく。

(2) 教師の服務規律は、どのように指導しているか。

答 教職員は常に高い倫理観が求められるため、服務規律研修計画を立て、研修内容や時間成果、また課題を報告するよう義務づけ、服務規律の保持徹底を図っている。

問③ 職員の管理指導について。

(1) 綱紀粛正と信賞必罰をもつと明確にすべき。

答 先般の地方公務員法違反については遺憾であり、内容に応じて免職・停職・減給・戒告の処分を行っている。職員の昇給についても人事院規則に準じて対処している。

(2) 上司は部下に遠慮なく管理指導をすべき。

答 新任の係長、課長等のマネジメント能力の研修を徹底している。

自然を活かした観光戦略を



河野睦夫 (両院クラブ)

問① 自然景観を活かした観光戦略を。

(1) 九重町の「夢 大吊り橋」のように、例えば「空中都市観光・宇佐のマチュピチュ」といった壮大な夢のある観光戦略を考えては。

答 「宇佐のマチュピチュ」として全国版のニュースや情報番組に相次いで紹介され、一気に人気スポットとして注目を浴びることとなった。今後は、地元、西椎屋地区とも連携し、観光地としての整備を急ぐ。提案の「空中都市観光・宇佐のマチュピチュ」は、壮大な夢のある観光戦略と受け止め、調査研究を重ねていく。

(2) 両合棚田の景観保全について今後の対策は。

答 両合川橋と周辺部の除草作業は委託事業により整備された



宇佐のマチュピチュ

が、棚田の大半の部分は依然として草木が繁茂しており、地域の方々とともに継続して棚田全体の景観づくりをすすめていく。今後は、両合棚田や院内石橋郡のもつ景観としての価値を高め、文化庁の重要な文化的景観への指定を目指していく考えである。

問② 介護予防について。

(1) 認知症予防の今後の課題は。

答 高齢化率が高くなるに比例し、認知症の発生率も高くなる傾向にある。まだまだ市民の認知症に対する意識は低いように感じる。より一層の普及活動を行うと同時に、「認知症予防教室」の増設を進めていく。

(2) 「認知症予防教室」の開催件数も増え、専門職1名では対応に限界がきている。増員の予算措置等、早急な対応を。

答 委託先の社会福祉協議会からも話を聞き、現状は把握している。早急に対応する。

教育、災害、企業誘致に関して



後藤竜也（忠政会）

- 問① 学校、教育に関して。
 (1) 土曜日授業に関して、どのような方針、見解か。
答 実施に向けて、他市の状況も調査、把握しながら各関係機関と十分議論していく。
 (2) 子供達に水難事故予防教育をしてはどうか。
答 事故防止に関する心得を徹底すると共に、実技指導、予防教育を図っていく。
 問② 防災、災害対策に関して。
 (1) 宇佐市に於いて、最も警戒すべき災害は河川の氾濫だと思ふが、自治会や自主防災組織との連携、非常時の対応準備はなされているか。
答 防災士の養成への支援と共に、避難訓練や防災研修の実施等、連携に努めていく。
 (2) 危険ため池の管理は、どのようになされているか。

- 答** 防災パトロール時などに、ため池を管理する機関等に現状や対策などの報告をして貰い、対策協議を行っていく。
 問③ 多目的ホールの設置、宿泊施設に関して。
 (1) 市内に200名以上収容出来るホール（宴会場）が無いという事態を重く受け止め、解決に向けて主体的に取り組むべきではないか。
答 ウサノピア小ホールでの飲食利用を可能としたが、利用が少ないので周知に努めていく。
 (2) 「かんぽの郷宇佐」の現況と今後の展望。
答 報道があった通り日本郵政（株）より売却の打診があったが、評価額等も未確定のため、条件提示があった段階で十分検討していきたい。宇佐市に必要な施設であると認識している。
 問④ 企業誘致に関して、地域間競争に勝つためにも、他市に無い際立った優遇策を実施してはどうか。
答 先進地事例を調査研究の上、拡充する方向で検討していきたい。

「かんぽの郷 宇佐」の存続を



斉藤文博（市民クラブ）

- 問① 稼働中の高家のごみ焼却場について、建設計画から現在まで、風評被害等を含めた問題点は。
答 国の方針で昭和57年1月、埋め立て処分していたごみが焼却処分されるようになった。事業着手後、覚書等に基づく地元合意に向けた話し合いを供用開始まで行った。風評被害等の報告は現在まで受けていない。県下の同類施設にも確認したが、風評被害に関する事例等はない。
 問② 「かんぽの郷宇佐」について、施設にかかる請願が議会で2回継続審査となっている。宇佐市の基本的な考え方を示すべきではないか。
答 施設の必要性は認識している。今後、条件提示があった段階で十分検討する。
 問③ 農業問題について。

- (1) 新しい農業政策の中、宇佐市独自の取り組みは。
答 地域における作物振興設計図「水田フル活用ビジョン」に基づき、地域が助成内容を設定できる産地交付金（産地戦略枠）において、大豆作付け面積10アール当たり8千円を上乗せし、助成する。
 (2) 飼料米作付けに変化があるのか。また、販路の見通しはあったのか。
答 概算値で、昨年度より150ヘクタール程拡大されている。販路については大分県農業協同組合を中心に14需要者が確保されている。
 問④ 水問題について。
 (1) 現在、市水道の需要と最大給水量のバランスは。
答 山本浄水場で1日最大給水量15,300m³、平成25年度実績で1日平均給水量11,067m³で約2,800m³の余水量がある。
 (2) 猛暑、少雨の時、節水を呼びかける基準は何か。
答 上水道では基準はない。宇佐市渇水対策緊急連絡協議会で協議される。

合併 10 年を迎えて



大隈尚人（市民クラブ）

問① 消防の防災無線について、火災時の放送ができなかったと聞くが、今後、どのような対策を考えているのか。

答 大変ご迷惑をおかけしました。今後は、データーの送信等に細心の注意を払いながら火災放送を行っていく。

問② 合併10年を迎え、記念行事を開催してはどうか。

答 具体的な開催時期や規模について、今後、調整をしていきたい。

問③ 今回初めて狩猟期間中に鹿駆除の助成金が出されたが、その結果はどうだったのか。効果があったなら、猪の駆除においても助成金を出してはどうか。

答 効果はあったと思う。猪の助成金を本年度当初予算に計上している。

問④ 以前、宇佐市では、3箇

所の危険箇所を防災パトロールし、協議を行ったと新聞に載っていた。その3箇所とは、どのような基準で設定されたのか。

答 現地パトロールを実施する箇所の基準は、新規に災害危険予想箇所になる所、対策工事がなされ危険予想箇所から解除される所、現況に変化があった所などである。

問⑤ 農地価格は、適正価格や目安価格が定められているのか。農業委員会は、価格決定に関わっているのか。

答 法的に適正価格や目安価格は定められていない。売り手、買い手の双方が合意して取引している。農業委員会は、関与していない。

問⑥ 九人ヶ峠の道路は、通学路であり、道路幅が狭くトンネル内の通行が危険である。早急に拡幅工事が必要である。市の考えは。

答 自転車通行に支障があると認識している。これまでに管理者である県土木事務所等に対策を要望している。引き続き要望していきたい。

全市民参加の宇佐市を



河野康臣（市民クラブ）

問① フラワーロードについて、(1) フラワーロード・花いっぱい運動の参加者数と総経費は。

答 25年度は、団体・個人合わせて225組、総経費は258万2千円。

(2) 花いっぱい運動20年の成果と課題は。

答 延べ4,300組の参加があった。課題は高齢化により除草管理できないこと。

(3) フラワーロードの有効利用をどうするか。

答 今後も魅力あるまちづくりに取り組む。

問② がんばる団体応援事業について。

(1) 26年度がんばる団体応募数と主な事業は。

答 11団体が採択された。主な事業名は四日市体験事業や浜の市長洲再発見事業、宇佐神宮奉

賛美術展など。

(2) 募集要項の簡素化や少人数参加はできないか。

答 できるだけ簡素化している。少人数の応募も可。

(3) その主な使途は。

答 文化事業、人材育成事業、地域づくり事業などに充当。

問③ 介護保険制度について、(1) 介護保険制度はどう変わるか。

答 軽度の介護予防が市に任せられる。また、一定所得以上の利用者の負担が2割となる。10年後を見通して持続可能な制度とする。

(2) 市の取り組みは。

答 今後、関係機関で協議をしていく。

問④ 勤労青少年ホームに変わる施設は。

答 体育館が利用できるようにしたい。



フラワーロード

市議会のホームページをご覧ください！

市議会の情報を定例会、臨時会ごとに更新しております。下記の方法で見ることができますので、ご覧ください。

① 宇佐市のホームページを開く。アドレスは、<http://www.city.usa.oita.jp/>



↓ クリックする

市議会

会議録の検索と閲覧できます

② 開いた市議会のページから必要なカテゴリーを選ぶ。

○議会及び議長交際費

毎月の議会・議長交際費の支出状況が見れます。

○議員名簿

各議員の住所、連絡先が見れます。

○議会日程表

各定例会、臨時会の議事日程が見れます。

○議会の結果

定例会、臨時会の採決結果が見れます。

○会議録の検索と閲覧

定例会、臨時会の議事録を検索することができます。



○市議会の案内

議会の流れや、用語解説、委員会の構成などが見れます。

○傍聴・請願・陳情

請願、陳情の提出方法を載せています。

○一般質問

定例会ごとの各議員の一般質問の内容、順番が見れます。

○議会広報誌「うさ議会」

過去からの議会だよりが見れます。

○宇佐市議会インターネット中継

議会開催中は、ユーチューブで生中継を、それ以外の時は、録画をユーチューブ、ユーチューブで視聴することができます。

表彰

5月28日に開催された第90回全国市議会議長会総会において、左記の7名の議員が永年表彰を受賞しました。

《議員10年以上》

佐田則昭 議員

宮丸龍美 議員

衛藤正明 議員

大隈尚人 議員

木下一夫 議員

中島孝行 議員

今石靖代 議員



暑中お見舞い

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞などのあいさつ状を廃止しておりますので、本紙上をもつてごあいさつにかえさせていただきます。また、本年初盆を迎えるご家族への供物、供花の儀につきましても失礼させていただきます。

市民の皆様のご健勝をお祈りいたします。

《宇佐市議会議員一同》

請願第5号の現地調査



6月24日に開催しました建設環境常任委員会において請願第5号「市道中恵良線道路改良工事に係る請願」の現地調査を行いました。

議会活性化特別委員会視察研修



5月22日～23日にかけて、「議会改革」と「議会広報誌」について、佐賀県鹿島市、長崎県雲仙市で視察研修を行いました。

市民の声

裏門からこっそり航空隊に入り込み、整備を受ける戦闘機を遠巻きに見る子ども達、その子ども達に「おう、坊主、今日も飛行機を見に来たのか」整備を担当する兵士が問いかける。「うん」少し恥ずかしそうに子ども達が答える。「もつと近くまで来い。見せてやるぞ」信じられない思いで互いの顔を見合わせながら駆け寄る子ども達。故郷に残してきた自分の子か、まだ幼い弟の様に思えたのか、その兵士は子ども達を飛行機の近くまで呼び寄せただけでなく、翼に乗せて整備場の格納庫前を行ったり来たりして子ども達を喜ばせてくれた。緊張と感動の子ども達、「落ちるなよ」「楽しいか？」声を掛け、ゆっくりと飛行機を動かす笑顔の整備兵、それを見て見ぬ振りの上官。「また来たのか？ いいぞ、こっちに来い」その整備兵はその後何度も訪れる子ども達を優しく可愛がってくれた。その子ども達も今年で76歳。同窓会で「宇佐市平和資料館」を訪れ、戦争を見ながら口にした思い出のひとつです。戦争の辛い記憶、痛ましい記録

や悔しい思いだけでなく、あの時代にこの場所でそんな楽しく幸せな瞬間があったことを記憶に留めておきたい、そして記録にも留めておいてほしい。

(藤垣勝志)

編集後記



平成26年度最初の定例会が終わりました。この広報誌は、市議会の取り組みや活動状況を出来るだけ多くの市民の皆様方に知っていただくために作成しています。より見易い紙面を目指して、今回は一般質問のページを、一ページ二人に割当て変更をいたしました。今後も市民の皆様方に、より関心を持っていただけるよう(予算の関係もありますが)、文字の拡大化や、ページのカラー化等にも取り組みたいと思います。この広報誌だけでなく、本会議や、委員会の傍聴・インターネットの生中継・録画中継等をご覧いただき、市政と市議会の活動に、より一層の興味、関心を持っていただきたいと思います。

議会改革を行っていくためにも、皆様方からの、提言、助言、苦言などをお待ちしております。

(新聞 洋一)